こちら航空宇宙推進室　ニュースレター

HOSPO SUPPORTERS限定イベントを開催！

6月1日、**HOSPO SUPPORTERS （ホスポ サポーターズ）**限定イベント**「宇宙港プロジェクト交流会～宇宙のまちづくりと明日の宇宙旅行を語る」**を帯広の北海道ホテルにて開催しました。

HOSPO SUPPORTERSは、北海道スペースポートへの**寄附企業**や、プロジェクトを**応援する企業**と開設した**コミュニティ**です。

今回のイベントでは、**黒川町長**の開会の挨拶より始まり、**SPACE COTAN（株）小田切社長**による北海道スペースポートの事業報告、サポーターズ同士の交流会を実施したほか、気球による**宇宙旅行**を目指す**（株）岩谷技研の岩谷社長**にもご登壇いただき、宇宙カプセルの開発状況などもお話しいただきました。

当日は**46社76名**もの方々にご参加いただき、更なるプロジェクトへの支援やサポーター同士の交流が深まり、プロジェクトへの共感が広がるイベントとなりました。

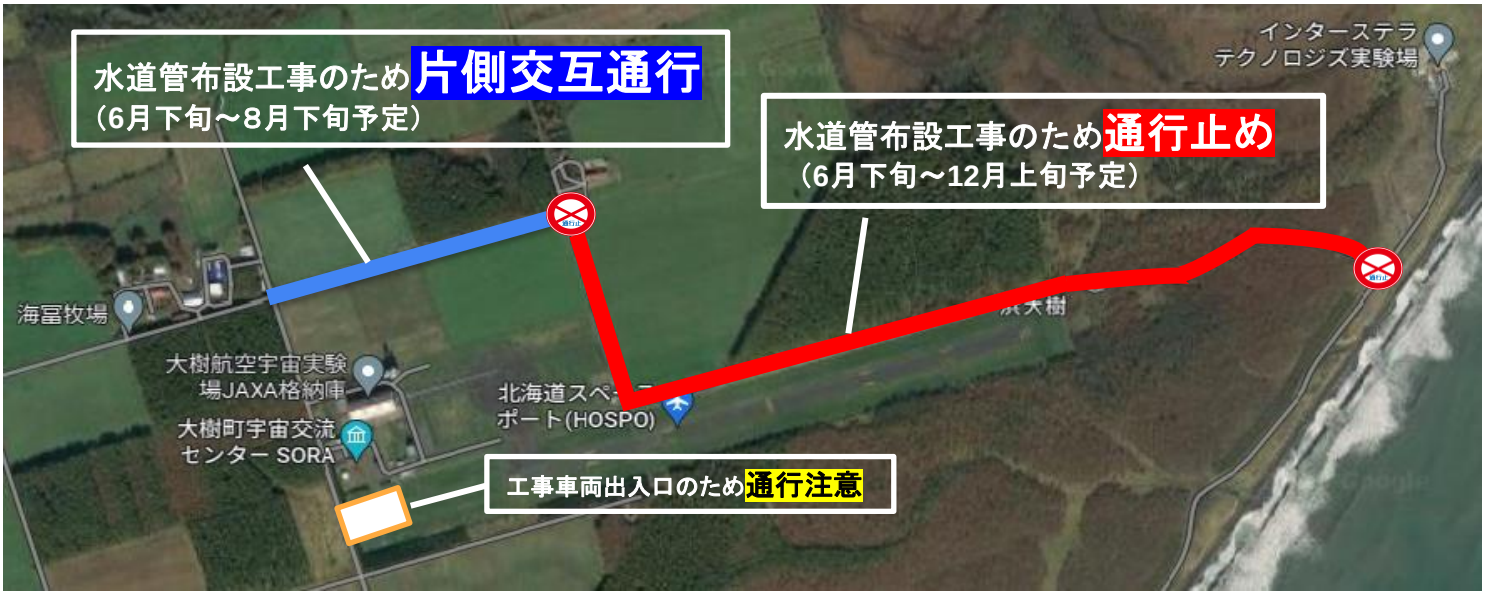
開会挨拶する黒川町長

岩谷社長（左）と小田切社長（右）のトークセッション

交流会の様子

HOSPO工事の状況（通行止め情報）

北海道スペースポートのLC-1射場・滑走路延伸工事について、令和5年度は**滑走路延伸工事**を中心に実施します。それに伴い**美成地区の一部は通行止め**になるほか、周辺の地域は**工事車両が走行**するため、通行する際はご注意ください。



日本宇宙少年団大樹分団総会を開催

5月20日に**宇宙少年団（YAC）大樹分団総会**を宇宙交流センターSORA研修室にて行いました。

総会では、これまで分団長だった**福岡孝道さんが顧問**として就任し、新たに**分団長として斉藤雅さん、副分団長として平岡亜弥さん**が就任しました。

分団活動では**天体望遠鏡**を作成しました。また、分団活動終了後には、分団員懇親会として、バーベキューを行いました。

北海道スペースポート用語解説

用語	意味
北海道スペースポート	大樹町多目的航空公園周辺のロケット射場や滑走路などの宇宙産業施設一帯の愛称。アジア初となる民間にひらかれた宇宙港を整備している。
HOSPO（読み：ホスポ）	北海道スペースポートの略称。ロゴの由来は、宇宙産業を支える安定感のある射場とロケットがモチーフ。また、北海道大樹町のグリーンと宇宙のブルーのグラデーションにより、北海道から宇宙へという意味合いを表現。
SPACE COTAN 株式会社	北海道スペースポートの整備を推進するため、大樹町および６つの道内企業等が出資して設立した会社。HOSPOの運営やロケットの打ち上げ支援業務などを担う。現在は大樹町多目的航空公園の指定管理者。
宇宙版シリコンバレー	宇宙を核として航空宇宙産業が町内に集積し、宇宙関連のものづくり製造の拠点となるほか、衛星データの利用などで第１次産業などのイノベーション、これらのことに伴う雇用や観光、人口増加などの波及効果のこと。
LC-1(Launch Complex-1)	人工衛星用ロケット射場で、2024年度完成予定。インターステラテクノロジズ社など国内外の事業者による人工衛星ロケットの打ち上げを予定している。MOMOを打ち上げたLC-0に隣接している。
銀河連邦	JAXAの研究施設が縁で交流を始めた５市２町がユーモアとパロディの精神で組織する連邦国家。子供たちの留学事業や経済交流、銀河連邦フォーラムの開催などを通じて友好を深めている。

■お問い合わせ　大樹町企画商工課航空宇宙推進室　TEL：01558-6-2113

HOSPO
HOKKAIDO SPACEPORT